

6 農林水産業費

241, 222, 261円

項 目	ページ
農業費	
農業委員会費……………	456
農政費……………	459
農業施設費……………	466
林業費	
林務費……………	467
水産業費	
水産業費……………	470

農 林 水 産 業

農林水産業費は、農林水産業の振興や、農道・林道をはじめとする農林業施設の維持管理、農業委員会の運営等にかかる経費である。

1 農業委員会の運営

農地法にもとづき、公正な農地の利用秩序の維持のほか、優良農地の保全と利用促進に努めた。また、地域住民との交流活動として、親子農業体験会を実施するとともに、情報発信活動として「農業委員会だより」を発行した。

2 担い手の支援

認定農業者および認定新規就農者に対して、農業経営改善計画等実施事業補助金を交付したほか、認定新規就農者の農業経営の安定を図るため、農業次世代人材投資資金の交付を行うとともに、新規就農者の誘致を推進するためのPR動画を制作した。また、農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積計画を作成し、利用権の設定を行うことなどにより、担い手への農地の集約を図った。

3 梅の里再生事業

ウメ輪紋ウイルスのまん延防止を図るため、市要綱を制定し、春季・秋季のアブラムシ防除、年2回の感染状況調査を実施した。

4 市民への農業啓発

農業祭をはじめ、農産物の即売会等を開催したほか、市民農園の運営を行った。

5 農地の保全

農地の有する多面的機能の維持に努めるために、水土里保全活動支援事業を実施したほか、農作物被害防止のため有害鳥獣対策事業を実施した。また、今寺藤橋地区小規模土地改良事業調査業務を実施し、当該地区の土地利用や農業の現況を調査した。

6 畜産振興

家畜の伝染病予防や乳牛の育成預託、また畜舎の環境衛生への支援等を行った。

7 多摩森林再生推進事業の実施

森林の公益的機能の回復と水の浸透の向上を目的に、手入れが行われず荒廃したスギ・ヒノキの人工林の間伐と枝打ちを実施した。

8 森林環境の保全

害虫、鳥獣被害の拡大防止を図るため、松くい虫防除事業、有害鳥獣捕獲事業などを実施した。

9 東京都森林経営管理制度協議会の設置

森林の経営や管理を図ることを目的として、森林経営管理制度が創設されたことにもない、東京都および関係市町村において東京都森林経営管理制度協議会を設置し、森林経営管理法に基づく意向調査業務を実施した。

10 森林ボランティア育成講座の開催

森林整備の新たな担い手の育成と組織化に向け、交流協定を締結している杉並区と共同で第11期森林ボランティア育成講座を開催した。

11 内水面漁業の振興

東京都内水面漁業環境用施設整備事業費補助金を活用し奥多摩漁業協同組合が実施した、ルアーフィッシングスクールに対して補助を実施した。

(歳出 6 農林水産業費)

農 業 費

148,427,987円

○ 農 業 委 員 会 費 (14,492,347円) [農業委員会事務局]

農業委員会経費

1 農業委員会の構成

(1) 農業委員

議席番号	氏名	区分	備考	議席番号	氏名	区分	備考
1	久保田正寿	団体推薦		8	町田五郎	団体推薦	
2	川鍋新一		9	川口勲			
3	八木克己		10	○小峰敏明			
4	野村貞良		11	森谷宏幸			
5	石川雅章		12	高野公男	自薦		
6	森田泰夫		13	鈴木清	団体推薦		
7	梅田幸次		14	◎加藤仁志			

任期：令和2年7月20日～令和5年7月19日 ◎は会長、○は会長職務代理者

(2) 農地利用最適化推進委員

氏名	区分	備考	氏名	区分	備考
福島義則	団体推薦		鈴木信義	団体推薦	
高山庫夫			影山正弘		
新井博士					

任期：令和2年7月20日～令和5年7月19日

(3) 専門部会

部会名	農政部会	経営部会	土地部会
部会長	鈴木清	川鍋新一	川口勲
副部会長	高野公男	石川雅章	森谷宏幸
部会員	久保田正寿 八木克己 高山庫夫 新井博士	野村貞良 森田泰夫 福島義則 鈴木信義	梅田幸次 町田五郎 影山正弘
人員	6人	6人	5人

任期：令和2年7月20日～令和5年7月19日

(4) 農業委員会推薦各種委員

名 称	委 員
青梅市農業振興対策審議会委員	加藤仁志 鈴木清
青梅市農業振興地域整備促進協議会委員	小峰敏明 川口勲
青梅市担い手育成総合支援協議会委員	小峰敏明 川口勲
青梅市食育推進会議	川鍋新一
青梅市人・農地プラン検討会委員	加藤仁志 川口勲

(5) 農業委員会会議開催状況

総会 12回 全員協議会 12回

農政部会 5回 経営部会 1回 土地部会 3回

(6) 付議事項

ア 農地法関係等処理状況

(単位：件、筆、㎡)

件名	件数	筆数	面積
農地法第3条許可申請 (移転)	22	50	41,259.48
〃 第3条許可申請 (設定)	3	9	3,913.00
〃 第3条の3第1項届出 (相続)	39	192	98,746.47
〃 第4条許可申請 (転用)	0	0	0.00
〃 第4条第1項第8号届出 (転用)	37	45	13,744.69
〃 第5条許可申請 (転用)	1	2	62.00
〃 第5条第1項第7号届出 (転用)	160	259	57,876.73
〃 第18条第6項通知 (解約)	2	3	1,045.00
特定農地貸付けの承認	2	2	4,343.00
生産緑地にかかる農業の主たる従事者についての証明	18	46	26,433.57
相続税の納税猶予に関する適格者証明	4	8	7,767.36
相続税の納税猶予にかかる特例農地等の利用状況確認について	0	0	0.00
引き続き農業経営を行っている旨の証明	53	179	118,855.41
農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定について	20	52	21,917.00
合 計	361	847	395,963.71

イ その他の事案処理状況

区分	件名	結果
第1回	令和3年度青梅市農業委員会活動計画について	決定
第2回	農業委員会による非農地証明について	決定
第3回	農業委員会による非農地証明について	決定
第10回	都市農地の貸借の円滑化に関する法律第4条第1項の規定による事業計画の認定についての決定について	決定
第11回	農地中間管理事業の推進に関する法律第18条第1項の規定による農用地利用配分計画案について	決定
	農業委員会による非農地証明について	決定

2 国有農地貸付状況

(単位：件、筆、m²)

区 分	地 目	件 数	筆 数	面 積
農地法施行令第15条の2 (農耕貸付)	畑	12	11	2,574
農地法施行規則第44条の3 (転用貸付)	〃	1	0	198
未貸付 (開拓財産を含む)	〃	56	48	146,735
合 計		69	59	149,507

※ 転用貸付の筆数は、農耕貸付と同一筆を一部利用しているため計上しない

3 証明件数 (単位：件)

耕 作 証 明	許可書等交付済証明	合 計
8	63	71

4 農業委員会等功労者表彰

部 門	氏 名	賞 名
農業後継者	町田勝彦	農業後継者顕彰

5 農業振興共進会の後援

名 称	実施月日	出品点数	農業委員長賞受賞者
西東京農協・西東京農協霞地区各生産組織主催 令和3年度霞地区農業祭農産物共進会	11.22~23	164	関塚貢司 (カリフラワー)
西東京農協かすみ園芸教室女性部主催 令和3年度霞地区農業祭参加作品共進会	11.22~23	37	留目博子 (寄せ植え)

6 農業委員会だよりの発行

委員会の広報活動として、農家への情報を掲載した「農業委員会だより」を発行、配布した。第80号および青梅市農業委員会創立70周年記念号(令和3年8月発行)、第81号(令和4年1月発行)

7 研修会等について

農業委員の日常業務である相談活動や議案審議の際の参考にするため、委員研修等に参加した。

開催日	会 議 ・ 研 修 会 名 等	会 場 等
4.14	西多摩地方農業委員会連合会総会	瑞穂町役場
7.6	農業委員会地区別広域連携会議	日の出町役場
9.16	西多摩地区農業委員・農地利用最適化推進委員研修会	青梅市役所 (WEB開催)
10.5	農業委員会会長職務代理・部会長研究集会	青梅市役所 (WEB開催)
10.28	農業委員会会長研究集会	青梅市役所 (WEB開催)
11.17	東京都農業会議事業推進協議会	ホテルエミシア東京立川
11.29	農業委員会活動推進フォーラム	KOTORI ホール
12.1	国会議員との意見交換会	衆議院第一議員会館
12.22	農地流動化・利用集積計画現地研究会	瑞穂町役場

8 地域住民との交流活動

市内在住の親子を対象に農業体験会を計画し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため田植え体験は中止となったが、稲刈り体験を実施した。

期 日	内 容	講 師	参 加 者 数
6.12	田 植 え (中 止)	農 業 委 員 会 経 営 部 会	—
10.9	稲 刈 り		47人

○ 農 政 費 (100,411,989円) [農林水産課]

1 農業振興対策審議会経費

(1) 青梅市農業振興対策審議会委員

氏 名	選 出 区 分	備 考	氏 名	選 出 区 分	備 考
◎ 野 崎 啓太郎	農 業 協 同 組 合 の 代 表 者		久 保 田 聡	知 識 経 験 者	
篠 田 好 則			平 野 直 彦		
○ 加 藤 仁 志	農 業 委 員		角 田 由 理 子		
鈴 木 清			古 屋 松 代		
大 野 富 久	農 業 関 係 団 体 の 代 表 者	9.30退任			
内 沼 秀 夫					
関 塚 貢 司		10.1就任			

任期：令和3年10月1日～令和5年9月30日 ◎は会長、○は副会長

(2) 会議開催状況

期 日	開 催 場 所	出 席 者 数	内 容
2.3	市役所	8人	(1)2020年農林業センサス東京都分調査結果について (2)第三次青梅市農業振興計画の取り組み状況について (3)青梅市のウメ等について (4)第三次青梅市農業振興計画の変更について

2 農業育成指導経費

(1) 農業振興共進会の後援

名 称	実 施 月 日	出 品 点 数	市 長 賞 受 賞 者
西東京農協・西東京農協霞地区各生産組織主催 令和3年度霞地区農業祭農産物共進会	11.22～23	164	福島すみれ (梅干)
西東京農協かすみ園芸教室女性部主催 令和3年度霞地区農業祭参加作品共進会	11.22～23	37	佐藤美南子 (寄せ植え)

(2) 農業団体補助金

団 体 名	補 助 金 額	補 助 目 的	備 考
青 梅 市 農 業 振 興 団 体 連 絡 協 議 会	465千円	農 業 振 興 事 業 の 助 成	青梅市畜産振興会 青梅市樹苗養成振興会 青梅きのこ生産振興会 青梅市花卉生産研究会 青梅市そさい振興会 青梅市茶業振興会 調布柿生産組合

(歳出 6 農林水産業費)

(3) 体験実習農園の利用者等

使用団体数	利用者数	使用面積	使用区画	使用期間
8団体	58人	900m ²	10区画	R2.4.1~R4.1.31

(4) シイタケ栽培講習会の開催

期日	内 容	参加者数	講 師
2.19	ほだ木の配布と育成管理指導	48人	青梅きのこ生産振興会

(5) 施設管理委託

委 託 名 称	契約金額	受 注 者	契約期間
花木園施設内花木等肥培管理業務委託	570千円	小曾木農業者振興会	4.1~3.31

3 農業後継者育成事業経費

市では農業後継者組織および女性農業者組織の活動に対し、農業後継者組織補助金を交付するなどの支援を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響により、これらの団体の令和2年度における活動が縮小し、補助金額より大きな繰越金が発生したことから、令和3年度においては補助金の交付を行わなかった。

なお、令和3年度の活動実績は以下のとおりである。

(1) 西東京農協青壮年部

(単位：人)

事業名	実施日	内 容	参加者数
学校給食事業における食農教育の出前授業への参加	6.15	市内の小学校にて、お茶摘み体験を実施。	3
組織活動実績発表大会への参加	9.17	農業青年のリーダーセミナーおよび組織活動実績発表大会への参加。	1

(2) グリーンプラム

(単位：人)

事業名	実施日	内 容	参加者数
プチヴェール栽培講習会	8.25	プチヴェールの栽培方法および管理方法の講習会。	9
プチヴェールの料理講習会	2.17	プチヴェールを使用した、料理講習会。	7

4 農作物被害防除経費

農作物被害防除状況

(単位：a)

種 別	防 除 時 期	防除延面積	備 考
水 稻 病 害 虫 防 除	5月～8月	1,560	共同防除
果 樹 〃	5月～8月	100	〃
有 害 鳥 獣 捕 獲	カラス 通年	市 内 全 域	カラス 4羽
	イノシシ 通年		イノシシ 47頭
	ハクビシン 通年		ハクビシン 7頭
	アライグマ 通年		アライグマ 91頭
	アナグマ 通年		アナグマ 12頭
	タヌキ 通年		タヌキ 31頭
	ニホンザル 通年		ニホンザル 2頭
	ツキノワグマ 通年		ツキノワグマ 0頭

5 梅の里再生事業経費

(1) ウメ輪紋ウイルス対策地区再植栽登録状況

(単位：か所、本)

地 区	樹 種	登 録 圃 場 数	登 録 本 数
梅 郷	ウ メ	131	3,350
和 田 町	ウ メ	36	704
柚 木 町	ウ メ	18	220
二 俣 尾	ウ メ	24	222
畑 中	ウ メ	10	96
日 向 和 田	ウ メ	5	15

(2) ウメ輪紋ウイルスまん延防止対策

ウメ輪紋ウイルスまん延防止対策を実施した。

ア 実施地区

梅郷全域、和田町全域、柚木町1丁目と2・3丁目の一部、二俣尾1～3丁目と4丁目の一部、畑中1・2丁目の一部と3丁目、日向和田全域

イ 実施状況

(ア) アブラムシの防除

春季(2月)および秋季(10月)に実施

(イ) 発生状況調査

区 分	樹 種	感染植物数	園 地 数
第1回調査(5月～6月)	ウ メ	12	6
第2回調査(8月)	ウ メ	1	1

6 農林業近代化資金融資関係経費

農林業近代化資金利子補給金

(単位：千円)

農協名	期首融資残額	期中融資額	期中償還額	期末融資残高	利子補給額
西東京農業協同組合	(8) 2,676	(1) 180	(8) 1,088	(7) 1,768	15

※ () 内は件数

7 地域農政推進事業経費

(1) 青梅市担い手育成総合支援協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎ 野崎 啓太郎	農業協同組合の代表者		中村 芳男	農業振興地域の代表者	
奥富 修			増田 孝夫		
○ 小峰 敏明	農業委員		榎戸 宏		
川口 勲			島田 秀雄		
久保田 聡	知識経験者		市川 久		

任期：令和3年6月1日～令和5年5月31日 ◎は会長、○は副会長

(2) 会議開催状況

期日	開催場所	出席者数	内容
8.13	市役所	9人	(1) 農業経営改善計画等実施事業補助金について (2) 青年等就農計画（認定新規就農者）の認定について (3) その他
2.10	書面	—	(1) 青年等就農計画（認定新規就農者）の認定について
3.24	市役所	8人	(1) 農業経営改善計画（認定農業者）の認定について (2) 農業経営改善計画等実施事業補助金の内規について

(3) 認定農業者等制度

ア 認定農業者数 53人

イ 認定新規就農者数 13人

ウ 認定農業者・認定新規就農者講習会等

(単位：人)

期日	開催場所	参加者数	内容
1.20	福祉センター	4	確定申告に向けた農業簿記講習会
2.3	福祉センター	4	確定申告に向けた農業簿記講習会
2.10	福祉センター	4	確定申告に向けた農業簿記講習会
2.24	福祉センター	4	確定申告に向けた農業簿記講習会

エ 農業経営改善計画等実施事業補助金

認定農業者・認定新規就農者が行う農業経営改善計画等を推進する事業に対し補助を行った。

件数	事業費	補助金額
14件	5,748千円	2,607千円

(4) 青梅市農業次世代人材投資資金交付金

交付対象者数	交付金額	交 付 目 的
7人	8,250千円	経営開始直後の新規就農者に対して農業次世代人材投資資金を交付し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。

8 市民農園経費

(1) 市開設農園

農 園 数	面 積	区 画 数	利 用 者 数
16か所	16,348.65m ²	800区画	個人 633人 団体 3団体

(2) 農家開設農園

(単位：箇所、m²、区画、人)

種 類	農 園 数	面 積	区 画 数	利 用 者 数
農 業 体 験 農 園	1	1,342	30	21
農家開設型市民農園	6	8,617	59	59

9 農業振興地域整備促進経費

(1) 青梅市農業振興地域整備促進協議会委員

氏 名	選 出 区 分	備 考	氏 名	選 出 区 分	備 考
◎ 野 崎 啓太郎	農業協同組合 の 代 表 者		中 村 芳 男	農業振興地域 の 代 表 者	
奥 富 修			増 田 孝 夫		
○ 小 峰 敏 明	農 業 委 員		榎 戸 宏		
川 口 勲			島 田 秀 雄		
久保田 聡	知識経験者		市 川 久		

任期：令和3年6月1日～令和5年5月31日 ◎は会長、○は副会長

(2) 会議開催状況

期 日	開 催 場 所	出 席 者 数	内 容
3.24	市 役 所	8人	(1) 農業振興地域整備計画の見直しについて (2) 農業振興地域内農用地調査について

(3) 農業振興地域および農用地区域の面積

地域区分	農業振興 地域面積	農 用 地 区 域 面 積				
		3年度末	内 訳			
			田	畑	樹園地	農業用 施設用地
霞台地畑地区	154.9ha (0)	88.9ha (0)	— ha (0)	49.2ha (0)	39.6ha (0)	0.1 ha (0)
霞水田地区	26.5 (0)	25.2 (0)	13.3 (0)	8.3 (0)	3.6 (0)	— (0)
小曾木・成木 丘陵地区	426.1 (0)	47.9 (0)	10.2 (0)	20.1 (0)	16.6 (0)	1.0 (0)
三田山麓地区	198.6 (0)	8.2 (0)	— (0)	5.0 (0)	3.2 (0)	— (0)
合 計	806.1 (0)	170.2 (0)	23.5 (0)	82.6 (0)	63.0 (0)	1.1 (0)

※ () 内は、前年度比の数字(単位: m²)

10 環境保全型農業推進経費

減農薬等栽培推進事業

(東京都エコ農産物認証農家が購入する優良たい肥購入費補助)

交 付 団 体	農 家 件 数	購 入 金 額	補 助 金 額
青梅市そさい振興会 有機農業部会	11件	834千円	334千円

11 小規模土地改良事業経費

(1) その他委託料

(単位: 千円)

項 目	金 額	委 託 内 容
今 寺 藤 橋 地 区 小 規 模 土 地 改 良 事 業 調 査 業 務 委 託	2,360	大門川の流量が激減していることから、限られた水源で営農を継続していくため地域の土地利用や農業の現況を調査・把握すると共に、地域の実情に即した農地整備計画案を作成した。

(2) 水土里保全活動支援事業費補助金

(単位：千円)

活動組織	活動内容	負担区分	
		都補助金	市補助金
天皇塚水田保全会	農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全管理活動	355	118
大蔵野水田保全会	農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全管理活動	404	344
	地域共同による施設の軽微な補修および農地の保全活動	49	16
	施設の長寿命化のための活動	102	34
木野下田んぼを愛する会	農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全管理活動	89	30
	地域共同による施設の軽微な補修および農地の保全活動	69	23

12 畜産育成指導経費

家畜伝染病予防接種事業補助金

(単位：千円)

事業主体	対象家畜	伝染病名	事業費	負担区分	
				市補助金	事業主体
青梅市畜産振興会	牛(26頭)	牛炭疽	101	30	71
	鶏(17,500羽)	ニューカッスル病			

13 畜産環境浄化事業経費

家畜飼養環境改善指導事業補助金

(単位：千円)

事業主体	事業内容	事業費	市補助金
青梅市畜産振興会	消毒用の消石灰の配布	59	59

14 畜産経営近代化促進事業助成経費

畜産経営近代化促進事業補助金

(単位：千円)

事業主体	事業種目	事業内容	事業費	負担区分	
				市補助金	事業主体
青梅市畜産振興会	乳牛改良事業	乳牛育成預託事業(56頭)	1,521	304	1,217

15 農林業安定化資金融資関係経費

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市内の農林業者が、金融機関から必要な資金の融資を受ける場合の当該融資にかかる利子補給金を交付する制度を創設した。なお、融資の実績はなかった。

(歳出 6 農林水産業費)

○ 農業施設費 (33,523,651円)

[公園緑地課]

花木園管理経費

1 花木園駐車場の有料駐車状況

期 間	有料駐車台数	
	普通車	大型車
4、5、9～11、3月の土・日曜日および祝日	4,267台	0台

2 主な施設管理業務委託

(単位：千円)

委 託 名 称	契約金額	受 注 者	契約期間
施設清掃管理等業務委託	8,689	(公社)青梅市シルバー人材センター	4.1～3.31
花壇等管理業務委託	583	〃	
遊戯施設点検業務委託	231	(株)三英	
合 計	9,503		

3 その他委託

(単位：千円)

委 託 名 称	契約金額	受 注 者	契約期間
花苗生育管理等業務委託(その1)	469	西東京農業協同組合	4.16～6.30
花苗生育管理等業務委託(その2)	334	西東京農業協同組合	9.7～11.30

4 備品購入

(単位：千円)

事 業 名	受 注 者	設 置 遊 具 名	契約金額
花木園複合遊具購入	(株)コトブキ	アスレチックワンダー	18,700

林業費 91,822,962円

○ 林務費 (91,822,962円) [農林水産課]

1 森林整備推進協議会経費

(1) 青梅市森林整備推進協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎ 小澤 順一郎	森林組合、林業および木材業関係団体の代表者		山崎 靖代	林業従事者の代表者	
○ 青木 初雄			須崎 昭		
野村 貞良			齋藤 孝		
武藤 明博	林業従事者の代表者		佐藤 晶春	知識経験者	
水村 初男					

任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日 ◎は会長、○は会長職務代理者

(2) 会議開催状況

期日	開催場所	内容
8.27～9.20	書面開催	森林環境譲与税の活用方法についての意見聴取委員の改選について
1.17	災害対策本部室	森林環境譲与税の譲与額および用途について青梅市森林整備計画の変更案について委員の改選について

2 林業振興経費

(1) 青梅市森林ボランティア育成講座

森林ボランティアの育成および組織化を図ることを目的として、平成22年度から市民等の他に、交流協定を結んでいる杉並区民を受け入れ、森林の手入れ方法等の実習講座を開催した。運営にあたっては、NPO法人青梅林業研究グループに業務委託を行った。

第11期講座受講者 16人

回数	開催日	実施場所	開催内容
第1回	7.10	風の子・太陽の子広場管理棟集会室	開講式、山歩き、除伐
第2回	9.18		緊急事態宣言中のため中止
第3回	10.9	風の子・太陽の子広場管理棟集会室・青梅の森	雨のため座学、その後下草刈り
第4回	10.30	多摩木材センター協同組合、(有)浜中木材店、東京都森林組合等	市場などの見学
第5回	11.13	青梅の森	間伐、道づくり
第6回	12.11	青梅の森	間伐、搬出、ベンチづくり
第7回	1.8	小沢の森、中島林業	山の話、除伐、木工作業
第8回	2.26	あまがさすの森	除伐、間伐、植林
第9回	3.12	青梅の森	間伐、ベンチづくり、閉講式

(2) 森林経営管理制度

森林の経営や管理を図ることを目的として森林経営管理制度が創設された。これを受けて、東京都および関係市町村において東京都森林経営管理制度協議会を設置し、森林経営管理法に基づく意向調査業務を実施した。

事業実施状況

(単位：千円)

名 称	金 額
東京都森林経営管理制度協議会負担金	1,058

3 松くい虫防除実施経費

事業実施状況

(単位：千円)

委 託 名 称	事 業 量	地 区 名	契 約 金 額	受 注 者	契 約 期 間	
松くい虫防除 作 業 委 託	樹幹注入	660.00m ³	霞 丘 陵	7,696	(株)三商	12.6~3.15
	伐倒駆除	15.00m ³	霞 丘 陵	330	(株)三商	12.6~3.15
合 計			8,026			

4 治山林道振興経費

(単位：千円)

委 託 名 称	委 託 内 容	契 約 金 額	受 注 者	契 約 期 間
林道施設管理 業 務 委 託	成木二本竹地区2路線 総延長距離2,773mの管理	87	二 本 竹 会 共 済 会	4.1~3.31
	柚木地区3路線 総延長距離1,778mの管理	130	柚 木 生 産 森 林 組 合	
	上記を除く市内35路線 総延長距離30,864mの管理	2,962	東 京 都 森 林 組 合	
森林管理巡視 業 務 委 託	森林の汚染、林道施設の状況および伐採等森林の施業状況把握のための巡視			
合 計		3,179		

5 多摩森林再生推進事業経費

東京都環境局から委託を受け、森林が本来持っている公益的機能の維持・回復のため、手入れの遅れているスギ、ヒノキの人工林に対して、3割の間伐を実施するとともに、すでに本事業で間伐を行った森林を対象に、水の浸透機能の回復と下層植生の繁茂の促進を目的に枝打ちを行った。間伐については、新規間伐に加えて1回目の間伐から12～13年目を迎えた森林を対象に2回目の間伐を実施した。

(単位：ha、千円)

業務名	地 区	実施面積	契約金額	受 注 者	契約期間	
間伐業務	新規	梅郷	4.63	3,397	ユニバーサル林業(株)	7.26 ～3.15
		小 計	4.63			
	新規	沢井、二俣尾	3.83	7,152	(有)福田製作所	7.5 ～3.15
		小 計	3.83			
	二回目	梅郷、沢井	3.66			
		小 計	3.66			
	新規	小曾木、日向和田	0.52	1,047	杣守	9.21 ～3.10
		小 計	0.52			
	新規	成木	1.10	23,827	東京都森林組合	7.5 ～3.15
		小 計	1.10			
	二回目	畑中、和田町、梅郷、柚木町、御岳	21.69			
		成木、二俣尾、沢井	12.54			
		小 計	34.23			
	新規	成木	4.05			
小 計		4.05				
	合 計	52.02	37,856			

(単位：ha、千円)

業務名	地 区	実施面積	契約金額	受 注 者	契約期間
枝打ち業務	成木	0.62	1,087	ユニバーサル林業(株)	8.5 ～3.8
	小 計	0.62			
	梅郷	9.05	12,370	(株)山恵	8.5 ～3.8
	小 計	9.05			
		合 計	9.67	13,457	

6 シカ被害防止対策事業経費

東京都の「多摩の裸山（シカ被害地）のみどり復活プロジェクト」にもとづき、有害鳥獣被害の中で、中山間地農業および林業の双方に顕著な被害をもたらすシカ被害について特化した事業として、農地に出没するシカの捕獲を行う有害鳥獣捕獲のほか、森林内に出没するシカの捕獲を行う有害鳥獣緊急捕獲を行った。

また、シカによる森林被害の防止を目的に設置したシカ防護柵について、その効果維持を図ることを目的として、シカ防護柵の巡視点検を行った。

(1) 有害鳥獣捕獲 (単位：頭)

種 別	時 期	捕 獲 頭 数
有害鳥獣捕獲（ニホンジカ）	通年	56
有害鳥獣緊急捕獲（ニホンジカ）	通年	80
合 計		136

(2) シカ防護柵巡視点検 (単位：千円)

委 託 業 務 名	地 区	件 数	延長距離	契約金額	受 注 者	契約期間
シカ防護柵巡視点検業務委託	成 木 7 丁 目	4件	1,380m	1,111	東 京 都 森 林 組 合	4.1～3.31

水 産 業 費 971,312円

○ 水 産 業 費 (971,312円) [農林水産課]

内水面漁業振興対策事業経費

1 内水面漁業施設整備事業費補助金

東京都内水面漁業環境活用施設整備事業費補助金を活用し奥多摩漁業協同組合が実施した、ルアーフィッシングスクールに対し経費の一部補助を行った。

(単位：千円)

事業実施主体	事 業 内 容	事業費	負 担 区 分		
			都補助金	市補助金	事業主体
奥多摩漁業協同組合	ルアーフィッシングスクール (3回実施)	1,105	828	138	139

2 江戸前アユ増殖事業補助金

江戸前アユ増殖事業補助金は、東京湾から遡上する天然アユ（江戸前アユ）の増殖を図るため、東京都内水面漁業組合連合会が実施する遡上アユ稚魚の汲み上げ放流の費用および産卵を控え成熟した成魚の放流費用を補助することで、内水面漁業の振興を図り地域を活性化する事業である。

令和3年度は、天然遡上無く未実施となった。